第12回品質保証検討会　議事録

1．日時　平成18年4月20日（木）　13:30～16:00

2．場所　日本電気協会　4階D会議室

3．出席者（敬称略，五十音順）

出席委員　：渡邊（邦）主査（東京電力），溝内副主査（関西電力），飯塚（東京大学），伊東（三菱原子燃料），今村（三菱重工業），大石（東京電力），大友（東北電力），大野（中国電力），小宮山（グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン），齋藤（三菱電機），佐々木（日本原燃），島津（北海道電力），鈴木（中部電力），竹添（九州電力），古川（日本原子力発電），宮越（三菱重工業），結城（原子力安全・保安院），米田（原子燃料工業），渡邊（勝）（日本原子力研究開発機構），渡辺（雅）（原子力安全基盤機構）

代理委員　：青出（北陸電力　辰巳代理），小坂（原子力安全・保安院　宗像代理），手束（四国電力　増田代理），長谷川（電源開発　首藤代理）

欠席委員　：岡野（九州電力），佐藤（東芝），芝原（日立製作所），高橋（富士電機システムズ），長谷部（原子力安全・保安院）

事務局　　：浅井，長谷川，国則（日本電気協会）

4．配付資料

資料No.12-1　品質保証検討会委員名簿

資料No.12-2　第11回品質保証検討会　議事録（案）

資料No.12-3　The Management System for Facilities and Activities
DRAFT SAFETY REQUIREMENTS No.GS-R-3

資料No.12-4　JEAC4111-2003を適用する際に調達先に要求する品質マネジメントシステム指針（案）

資料No.12-5　平成17年度JEAC4111講習会アンケート集計

資料No.12-6　平成17年度JEAC4111講習会当日の質疑応答

資料No.12-7　JEAG4121意見対応（案）

参考資料-1　第15回品質保証分科会議事録（案）

参考資料-2　品質保証分科会　新検討会設置提案

参考資料-3　品質保証分科会　活動計画（平成18年度）

参考資料-4　JEAC4111意見対応

5. 議事

(1) 代理委員の承認と会議定足数の確認

主査選任の前のため，出席者全員の了承を持って，委員代理者が代理委員として承認された。続いて，出席委員数が議案決議の条件である委員の 3 分の 2 以上という，定足数を満たしていることが確認された。

(2) 検討会委員の自己紹介と主査の選任

各委員が自己紹介を行った後，齋藤委員より検討会主査候補者として渡邊（邦）委員の推薦があり，他に推薦がないことを確認した後，挙手による決議の結果，出席委員 23 名中 22 名の賛成で渡邊（邦）委員が主査に選任された。続いて，渡邊（邦）主査より溝内委員が副主査に指名された。

(3) 検討会の開催回数を含めた呼称について

事務局より，参考資料-2 に基づき，旧検討会，作業会，JEAC4111 普及タスクが廃止され，新たに本検討会が設置された経緯が紹介された。今回は，改組後第 1 回の，名称は従来どおり品質保証検討会となるが，例えば公開される議事録上の表記について，旧検討会の「第 1 回品質保証検討会」と区別する必要があるため，検討会の開催回数を含めた呼称の識別方法を，今回の会を「第 1 回改組品質保証検討会」，あるいは「改組第 1 回品質保証検討会」とする案も含め検討した結果，従来の開催回数を引き継ぐ「第 12 回品質保証検討会」とすることが，出席委員 23 名中 22 名の賛成で承認された。なお，これに伴い，配付資料上，「No.1-1～1-7」と記載されている資料番号を，「No.12-1～12-7」に読み替えることとした。

(4) 第 11 回品質保証検討会　議事録（案）について

事務局より，資料 No.12-2，第 11 回品質保証検討会議事録案が紹介され，本内容で正式な議事録とすることが，全員の賛成で承認された。

(5) 平成 18 年度の活動計画について

渡邊（邦）主査より，参考資料-3 に基づき，品質保証分科会の平成 18 年度活動計画が紹介され，これを踏まえて検討会としての活動計画を，以下(5-1)～(5-3)のとおり確認した。なお，各活動に原案作成の本日現在の担当者を記載するが，本日欠席の委員を含め，他に参加できる委員は事務局に連絡することとし，また会議開催予定は全委員に連絡し，希望があれば担当者以外の参加も可能とすることとした。

(5-1) IAEA QA コードの評価

資料 No.12-3 に示す IAEA QA コード No.GS-R-3 は，本内容で出版手続きに入って

おり，近々に発行される予定である。この内容を評価し，JEAC4111 への反映要否などを検討する。なお，原子力安全研究協会で作成中の和訳が，5 月中旬に利用できる予定である。

担当者：鈴木委員（リーダ），今村委員，小宮山委員，竹添委員，渡邊（邦）主査，渡辺（雅）委員

(5-2) 調達管理に係わる検討

事業者とベンダーとの調達管理に係わる検討を行う。

担当者：齋藤委員（リーダ），伊東委員，古川委員，溝内委員，宗像委員，米田委員

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。

- 日本原子力産業協会でまとめた資料 No.12-4 をベースにして，各事業者の要求内容を反映するのがよい。
- 資料 No.12-4 をベースにするならば，製品・サービスの種類や調達先の規模などに応じて，その管理の程度を明確にする必要がある。
- 資料 No.12-4 をベースにする前に，まず規格の概念を整理するのがよい。
- 調達先への要求事項については，発注側の調達管理の中でどう位置付けられるかを明らかにすべきである。調達契約に使用する品質保証規格については，どういう時にどの様な使われ方をするのかを明確にして，検討する必要がある。
- 使用方法を考えると，ISO9001 の原子力分野のセクター規格として，追加要求事項をまとめるという案もある。なお，必要があれば JIS 化することも不可能ではない。
- JEAC4111 が準用される，建設段階，廃止措置段階の扱いも考慮して，作成するものの位置付けを明確にする必要がある。

(5-3) JEAC4111 の普及・定着

平成 18 年度以降の普及・定着活動の企画・立案を行う。

担当者：米田委員（リーダ），大石委員，竹添委員，溝内委員，宗像委員，結城委員，渡邊（邦）主査

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。

- コースⅡ，Ⅲのレベルの講習会，ベストプラクティスを紹介するワークショップに加えて，専門家同士がケーススタディを議論する研修会（検討会メンバと同伴者による）の実施を検討する。
- 時期的には，定期検査の無い時期の開催が望ましい。

・ 実際に規格策定の検討，議論，レビューを行ったメンバによる講習に価値があり，また講師自身の実力も向上したものと思われる。

(6) JEAG4121-2005 意見対応について

渡邊（邦）主査より，資料 No.12-7 に基づき，JEAG4121-2005 に寄せられた意見への対応案が紹介され，異論なく承認された。

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。

・ 運転保守分科会で，個人情報の公開を望まない旨を表明した質問・意見を検討することに疑問が提示され，基本方針策定タスクで議論されることになったが，その結論が出る前に，同じく個人情報の公開を望まない旨を表明している本件を検討することに問題はないのか？
・ 従来，規格案に対するパブリックコメントなどについても，会議資料などに個人情報は記載せず検討している。基本方針策定タスクおよび原子力規格委員会で結論が出れば，その内容に従うことになるが，現状，品質保証分科会，品質保証検討会で運転保守分科会同様の疑問がなければ，本件の検討を進めることに問題はないと思われる。
・ 現状，意見は意見として検討を進めてよいと考える。
・ 匿名でも意見は受け付けるのが一般的である。
・ 次回改定時，具体的な採否の判断をする際に，○○法など個別手法に限定する固有名詞はなるべく使用せず，一般的な名称となる普通名詞を使うべきである。

(7) その他

次回検討会は，6 月中旬を目安として，追而各活動の原案作成状況などを踏まえて，開催日程を調整することとした。

以　上